

第19回 さわやか少年野球大会

審判上の取り決め事項（ローカルルール、グラウンドルール）

【ローカルルール】

1. 送球がデッドラインを越えた場合

野手の送球については、規則どおりデイク・ツーとするが、投手が投手板を外した時の送球がデッドラインを越えた場合については、デイク・ワンとする。

2. インフライトの打球を捕球後、デッドラインを越えた場合

ボールデッドとし走者がいる場合は、塁にとどまる。
規則書では「ボールデッドで走者に次の塁を与える」としている。

【光が丘公園野球場グラウンドルール】

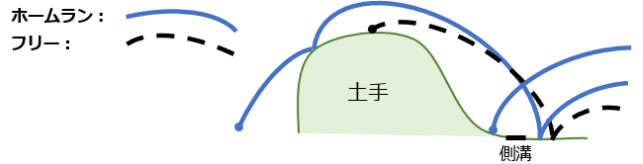
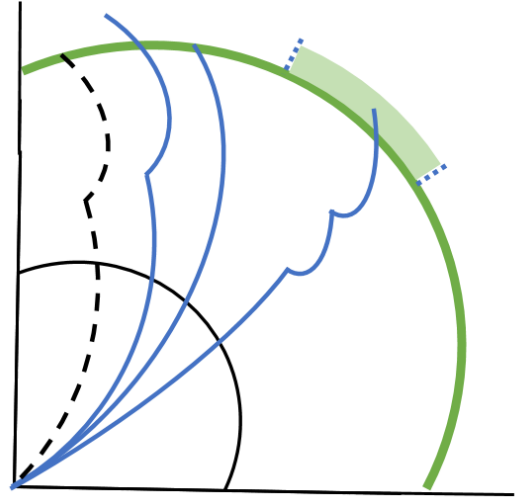
1. 認定本塁打：下記の場合は、認定本塁打とする。

1-1：打球が外野後方の側溝をインフライトの状態を超えた場合。

1-2：打球が転がるか側溝の手前でバウンドしてから、外野後方の土手を越えた場合。
(ただし、外野後方の土手に上る状態の時は、ボールインプレーとする。)

1-3：打球が転がるか側溝の手前でバウンドしてから、中堅後方の植え込みに入った場合。

2. ボールデッドライン：両ベンチ側ともにバックストップの切れ目からベンチを含みベンチ横で入口の手前までをボールデッドラインとする。また、一塁側ベンチ横、得点版付近に本部席を設置し、ボールデッドラインで囲む。



【練馬総合運動場少年野球場グラウンドルール】

① A面デッドラインと超えた場合の処置

a. 外周のデッドライン

・“側溝内線”（グラウンド側）とする。従って、打球や送球が側溝内線を越えた場合はボールデッドである。

b. フェアの打球に対する処置

・B面の土と芝生の境と、その三塁側外周までの延長戦、左翼中堅後方マーカー設置ラインをデッドラインとし、
・インフライトで越えた場合→認定本塁打とする。
・ゴロで越えた場合→エンタイトル・ツーベースとする。
※但し、センター後方カラーコーン（大）を境に、中堅後方をゴロで越えた場合は認定本塁打とする。

② B面デッドラインと超えた場合の処置

a. 外周のデッドライン

・“側溝内線”（グラウンド側）とする。従って、打球や送球が側溝内線を越えた場合はボールデッドである。
※但し、センター後方側溝内線をゴロで越えた場合は認定本塁打とする。

b. フェアの打球に対する処置

・A面の土と芝生の境と、その一塁側外周までの延長戦、右翼中堅後方マーカー設置ラインをデッドラインとし、
・インフライトで越えた場合→認定本塁打とする。
・ゴロで越えた場合→エンタイトル・ツーベースとする。
但し、センター後方カラーコーン（大）を境に、中堅後方をゴロで越えた場合は認定本塁打とする。
・一塁側のネット、ライト側後方ポール以遠について、オレンジのネットより上部（上部ラインを含む）にインフライトでダイレクトに到達した場合、認定本塁打とする。

④ ファウルエリア上の“枝”に打球が当たった場合の処置

当たった段階で、ボールデッドとする。従って、野手が捕球してもファウルである。

⑤ フェアエリア上の“枝”に打球が当たった場合の処置

インプレイ、かつフリー（成り行き）とする。従って、野手が捕球すればアウトであり落下すればフェアである。この場合、落下地点がフェアかファウルエリアかは問わない
※本プレイが発生し、審判員がフェアエリア上で“枝”に当たったと判断した場合は、審判員は瞬時に“フェア”のジャッジをすること。

